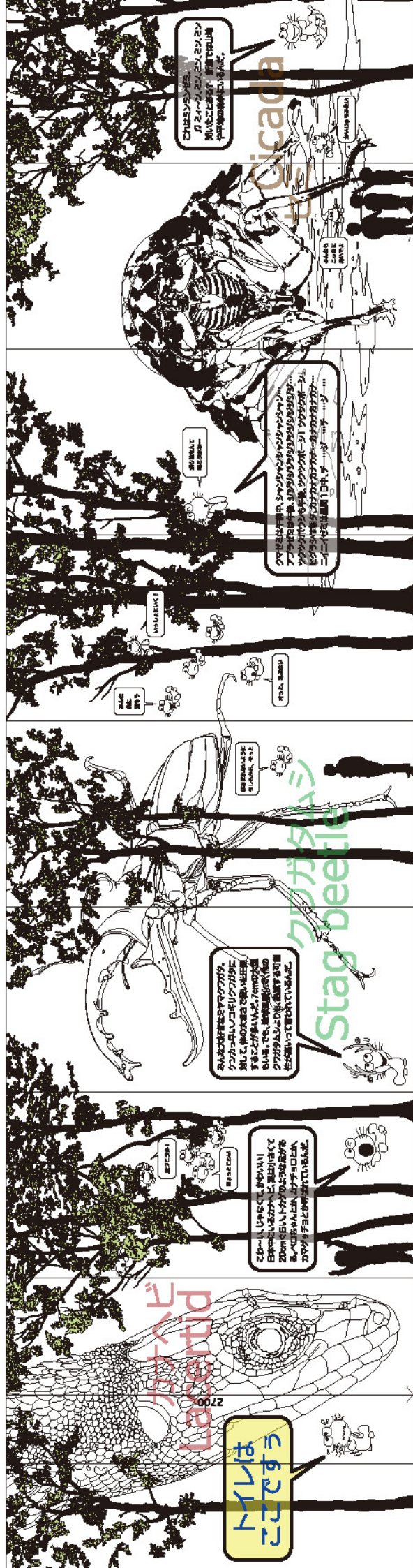




17 1230 35

16 1230 34

15 1230 33

14 1230 32

13 1230 31

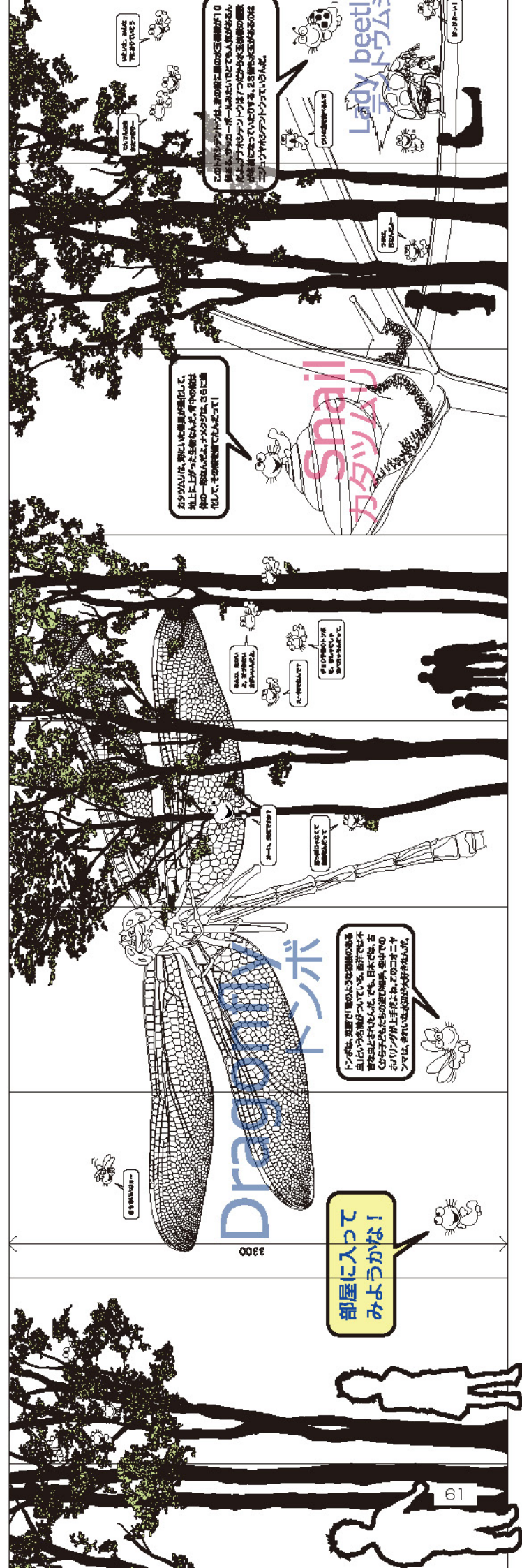
12 1230 30

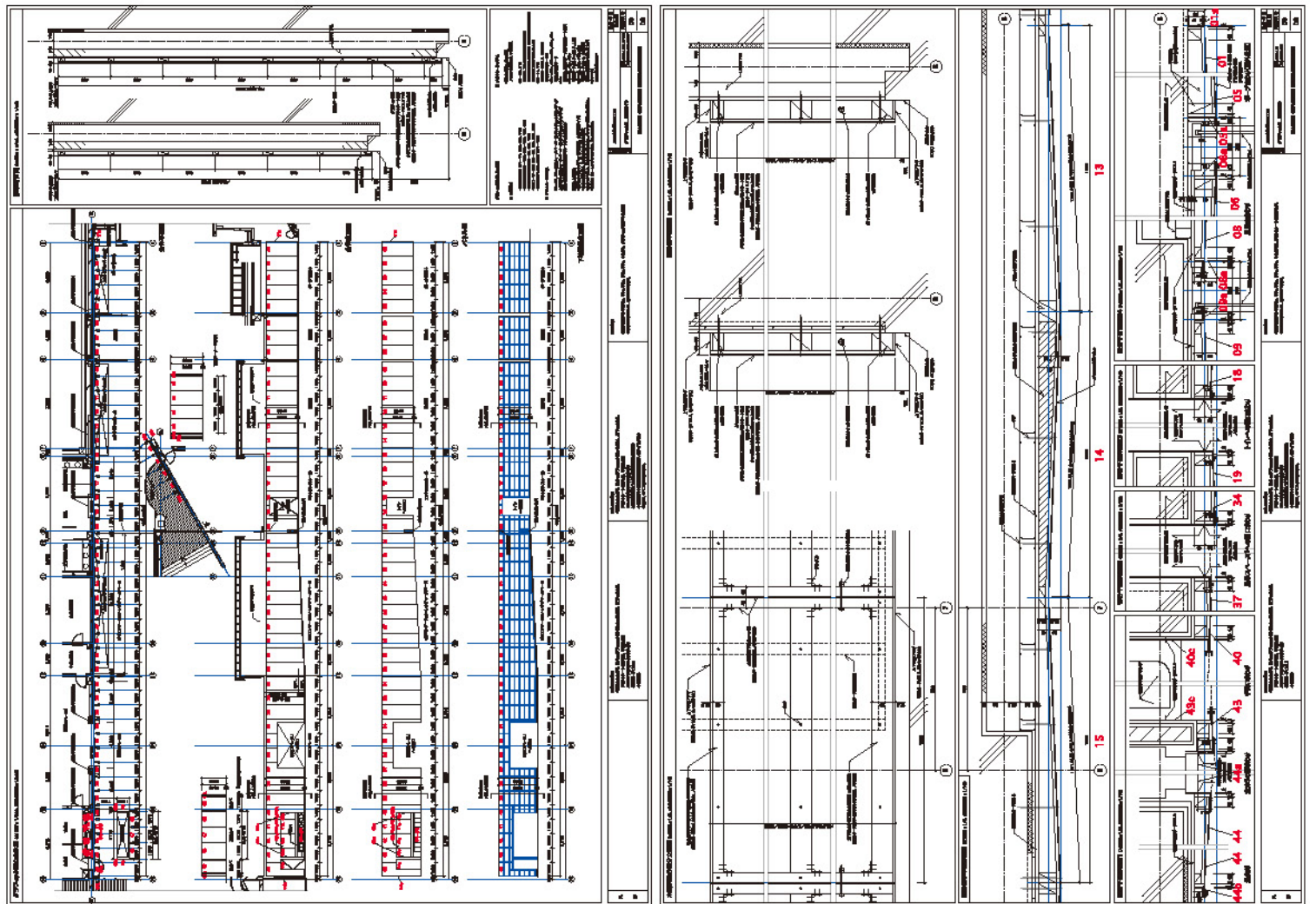
11 1230 29

10 1230 28

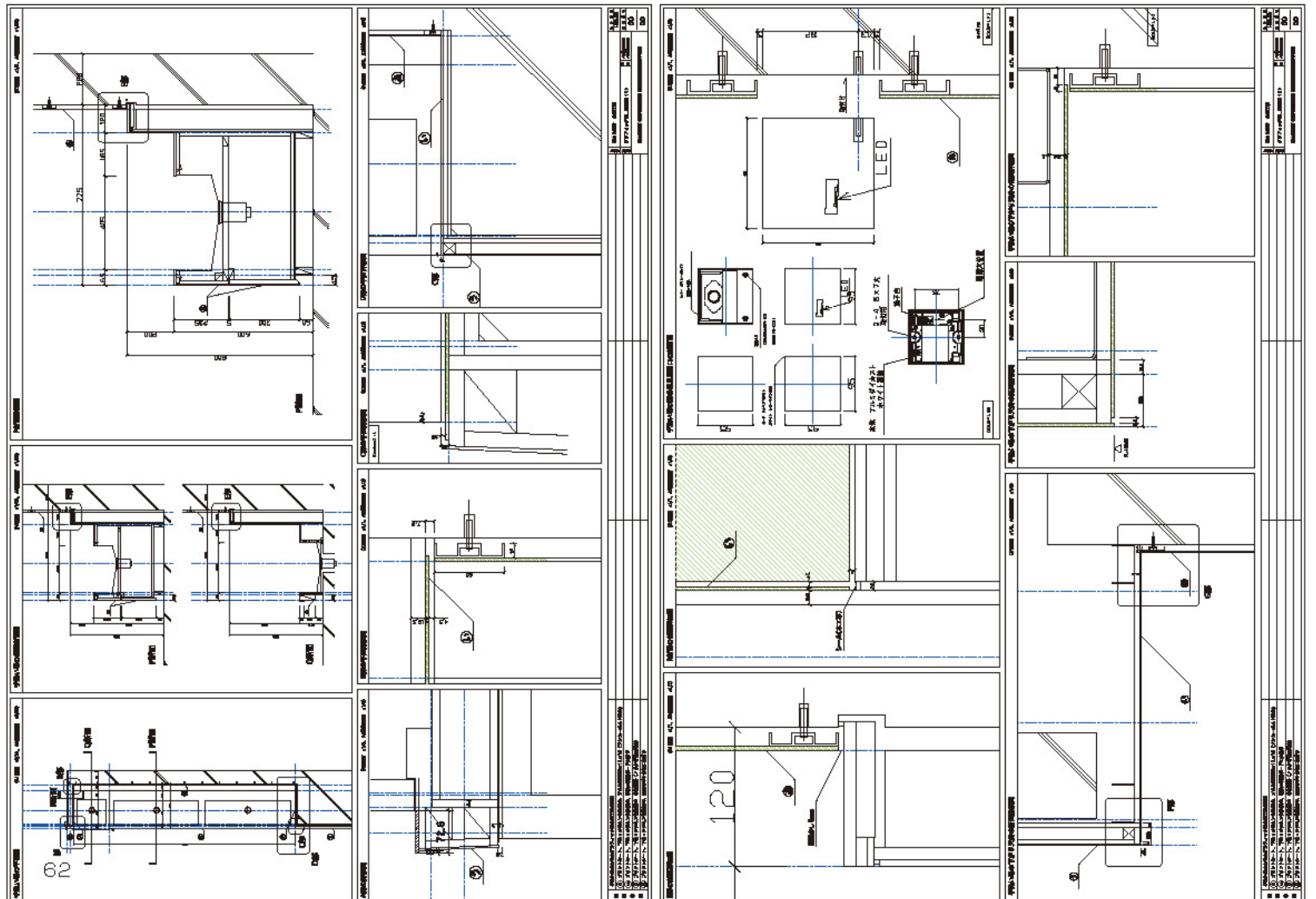
09 1230 27

ドローイングウォールの部分





建築の実施設計図書の一部



平成22年度受託プロジェクトを振り返って／地域デザイン活動支援／
デザイン研究開発センターへの相談、担当教員

・平成22年度受託プロジェクトを振り返って

平成22年度の本学デザイン研究開発センターの活動を振り返り、その内容などをご紹介します。本年は合計16件のプロジェクトを受託しました。委託者は、民間企業、自治体、各種団体など、例年同様様々な団体からバラエティに富んだプロジェクトをお受けすることが出来ました。本学にお声掛け頂き、共同研究や委託事業を実施された皆様方にこの場を借りて御礼申し上げます。

長岡造形大学では、様々な形で日頃より地域に向けてデザインを通じた支援活動を実施しています。デザイン研究開発センターが担う産学連携事業、自治体と連携した各種事業、また小学生からシニア世代までを対象にした生涯学習事業、22年度から本格的にスタートした市民工房など様々な取り組みを行っております。

デザイン研究開発センターは大学の産学連携事業を担う部署として、日々企業等からの相談や依頼に対応し、様々なプロジェクトを実施しています。

本年お受けしたプロジェクトの一例をご紹介しますと、長岡木工家具共同組合様からお受けした『学童用机・椅子のデザイン開発業務』にて、越後杉を活用し

た机・椅子を開発し、その性能が認められ実際に市内の小学校で使われることになりました。また、日頃長岡市内の3大学1高専の枠組みを使った各種事業等でお付きの深い長岡工業高等専門学校様が、新たに制作する学校のロゴマーク制作に関わることができました。これらは今年度の業務の中で、最終的に目に見える形で成果品が世の中で使用された代表的なものですが、頂いたプロジェクト全ての成果品が世の中で日の目を見る訳ではありません。

試作段階で実際の製作には至らなかったものや、実験的な取り組みで元々商品化を想定していなかったものなど様々な形態があります。センターでお受けする仕事は、もちろん世の中で日の目を見るようなプロジェクトだけを想定している訳ではなく、実験的なもの、学生への教育効果を狙ったもの、或いは公共的に意義のある取組など、その対象は千差万別です。

地域社会の中で活動する大学として、地元の企業や住民の方々に大学の持つ資源が有効に活用されるよう、あらゆる可能性を否定することなくその新しい枠組みを模索していきたいと考えています。



長岡デザインフェア①



IDS展 大学展示①



NAZEの皆様卒研展見学①



長岡デザインフェア②



IDS展 大学展示②



NAZEの皆様卒研展見学②

・地域デザイン活動支援

また平成22年度は初めての取組として、県央リサーチコアにて行われた「ニイガタIDSデザインコンペティション2011」（平成23年1月20日～1月23日開催）にて、過去のデザイン研究開発センタープロジェクトの成果品等を展示する機会を頂きました。IDS展は、毎年NICO（財団法人にいがた産業創造機構）主催で実施をしているコンペティションで、「地域発ブランド」を構築し得る産業の育成を目的にしています。毎年主に新潟市のときメッセを会場に開催されているのですが、今年は燕三条の地場産業振興センター（リサーチコア）にて開催されることとなり、今年に限り大学に展示の依頼を頂いたものです。本学のブースは10メートル四方と広いスペースだったのですが、近年のデザイン研究開発センターによる産学連携の成果を紹介する模型やパネル、卒業生が実際にデザイン開発した商品の現物展示及び、本学プロダクトデザイン学科のカリキュラム紹介パネルや授業課題作品などを展示しました。展示全体としては、本格的な模型や卒業生がデザインした実際の商品などを多数展示することができ、充実した内容にすることが出来ました。模型や実際の商品にはパネルにはないリアルティがあり、ブースを訪れた方々は足を止めて、細部にいたるまでじっくりとご覧になっていました。

また、本学も参画し様々な面で活動に協力している、NPO法人NAZE（長岡産業活性化協会）加盟の企業関係者の方々と、2011年卒業・修了研究展（平成23年2月6日～2月6日開催）にお招きして、学生たちの集大成である卒業（修了）制作をご覧頂くことができました。NAZEは、平成21年度よりNPO法人化し、産業界主体の組織として長岡地域の産業活性化のため様々な取組をしています。主に地元の企業関係者の方々が加盟していらっしゃいますが、今回卒業・修了研究展にて作品をご覧頂き、本学の教育内容やその成果を直接ご覧頂けたことは大変良い機会でした。大学の実態をより知って頂くことで、一層中身の充実した産学連携の取組に繋がっていかばと考えています。

他には、例年同様長岡市主催の「長岡デザインフェア2010」（平成22年10月23日、24日開催 会場：長岡造形大学）が開催され、学長が実行委員長を務めるな

ど大学として積極的に関与しました。このデザインフェアは今回で17回目を数え、長岡市においてすっかり恒例の行事として定着した感があります。テーマ「デザイン力で、守ろう、つくろう、楽しもう！」と題し、デザイン教室、ものづくり教室、工業デザイン展示会、景観デザインイベントのほか、トップクリエイターの旬な作品を展示する展覧会とコラボレーションするなど、多種多様な企画を通じてデザインの力の発進を目指しました。また、地域に残る伝統的な産業や街並みにも目を向け、パネル紹介や現地の見学会などを実施することが特徴でもあります。今後も引き続き、デザインフェア発展のために大学として尽力していきます。

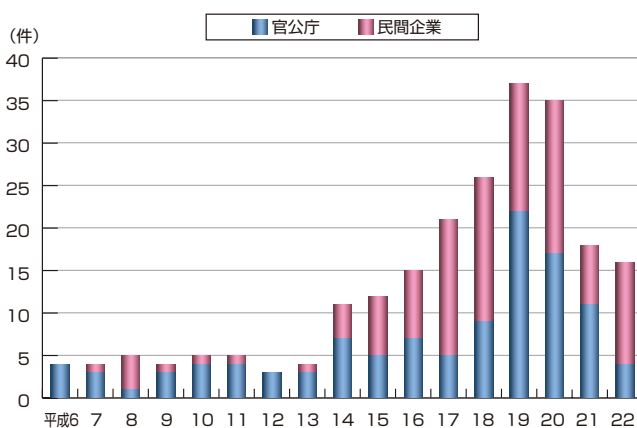


図1 機関別プロジェクト数

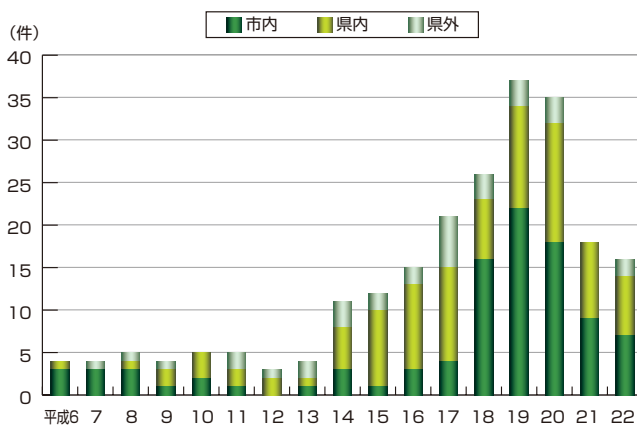


図2 地域別プロジェクト数

・デザイン相談の受付

長岡造形大学デザイン研究開発センターでは、寄せられたデザイン相談の内容に応じて様々なメニューを用意しています。ご相談は以下のように本学にて対応いたします。

デザイン相談の受付

デザインに関する相談は、電話・FAX等で長岡造形大学総務企画課にて随時受け付けています。

電 話

▶ まずはお気軽にお電話下さい。TEL 0258-21-3311(代)

FAX・Eメール

▶ 「デザイン相談申込用紙」にご記入いただきFAX又はEメールにてお送りください。

FAX 0258-21-3312

Eメール kikaku@nagaoaka-id.ac.jp



内部協議 ～ 両者打合せ

頂いた相談内容をセンターで把握し、打合せにて詳細内容を再度お伺いいたします。
その後、ご相談内容に沿った最も適切な方策をご提案いたします。以下が主なメニューとなります。



①受託研究・委託によるデザイン提案

委託契約に基づき、担当する教員が調査研究又はデザインを提案いたします。メンバーには学生も参加します。

②外部デザイン事務所の紹介

ご相談内容に応じて外部デザイン事務所を紹介いたします。

③学生コンペ

学生に広くデザイン案をお求めの場合は、本学学生を対象に学内コンペを行ないます。

④教員による専門的アドバイス等

デザイン全般に関して専門的知見からアドバイス及びコンサルティングをいたします。



「①委託によるデザイン提案」の場合、以下のとおり業務が進行いたします。

主査の決定 ～ 業務委託契約

ご相談内容に応じて本学教員の中から適任者（主査）を決定します。
業務の方法、期間、予算等について、両方で協議を重ね、業務委託契約を締結し、業務がスタートします。
ただし、授業その他の学事が優先されますのでご了承ください。



成果物の提出・業務終了

成果物を提出し、委託元の検収後、業務終了となります。

・センターの担当教員

長岡造形大学の全教員は、デザイン研究開発センターの諸プロジェクトの担当教員であり、各自の専門・研究分野の特性に応じて、プロジェクトに関与します。

なお、以下に本学教員の氏名と専門分野を示しますのでご参照ください。（注：職名及び専門分野は平成23年10月1日現在を掲載しています。）

氏 名	専 門 分 野
学長 上 山 良 子	ランドスケープアーキテクチャー、アーバンデザイン
教授 石 原 宏	西洋美術史
教授 上 野 裕 治	ランドスケープ計画・設計、植物生育環境、緑地環境
教授 木 村 勉	建造物保存修復
教授 後 藤 哲 男	建築・都市設計
教授 境 野 広 志	工業デザイン
教授 菅 原 浩	比較文化論、表象文化論
教授 鈴 木 均 治	テキスタイルデザイン（染色）
教授 土 田 知 也	工業デザイン
教授 長 瀬 公 彦	グラフィックデザイン、イラストレーション
教授 長谷川博紀	グラフィックデザイン、広告全般、イラストレーション
教授 馬 場 省 吾	金属工芸（鍛金造形）
教授 飛 田 範 夫	日本庭園史
教授 ヨールグ ビューラ	マルチメディア、アート教育
教授 平 山 育 男	建築史
教授 松 本 明 彦	写真、デジタルフォト
教授 森 望	ディスプレイデザイン
教授 森 田 守	デザイン／意匠行政論、意匠法、知的財産権制度
教授 山 下 秀 之	建築意匠
教授 和 田 裕	プロダクトデザイン
教授 天 野 誠	グラフィックデザイン（エディトリアルデザイン）
教授 江 尻 憲 泰	建築構造
教授 大 森 修	国語科教育・教育方法
教授 川口とし子	建築・インテリア・プロダクトのデザイン

教授 菅 野 靖	金属工芸（彫金）
教授 熊 井 恭 子	テキスタイルデザイン
教授 近 藤 忠	広告のアートディレクション・デザイン、グラフィックデザイン
教授 原 子 力	マンガ全般・イラストレーション
教授 アンドリュー バン	ゴースム TESOL-Teaching English to Speakers of Other Languages
教授 堀 田 正	彫刻
教授 結 城 和 廣	美術科教育、総合学習
准教授 金 澤 孝 和	工業デザイン
准教授 吉川賢一郎	グラフィックデザイン
准教授 小 林 花 子	彫刻
准教授 澤 田 雅 浩	都市計画、都市防災
准教授 新 海 俊 一	建築計画、建築意匠、都市解析、情報学
准教授 長谷川克義	金属工芸（鋳金）
准教授 真 壁 友	デジタルデザイン、メディアアート
准教授 御法川哲郎	イラストレーション
准教授 渡 辺 誠 介	都市計画・観光とまちおこし
准教授 岡 谷 敦 夫	油彩、版画（銅版、リトグラフ、木版）
准教授 川越ゆかり	服飾デザイン、製作
准教授 中 村 和 宏	ガラス工芸

長岡造形大学デザイン研究開発センター 平成22年度活動報告

発行日：平成23年10月1日

発 行：長岡造形大学デザイン研究開発センター
940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地
T E L. 0258-21-3311（代表）
F A X. 0258-21-3312

長岡造形大学ホームページ

<http://www.nagaoka-id.ac.jp/>

Eメールアドレス

kikaku@nagaoka-id.ac.jp

表紙デザイン：御法川 哲郎

本書の図版及び文章の無断転載を禁じます。

Copyright©2011 Nagaoka Institute of Design All rights reserved.

デザイン相談申込書



この度は、本学デザイン研究開発センターにご相談いただき誠にありがとうございます。
この用紙は、ご相談の参考資料として使用いたします。ご自由にご記入いただき、
FAX又はE-MAILで用紙をお送りください。

長岡造形大学
デザイン研究開発センター
TEL 0258-21-3311
FAX 0258-21-3312
E-MAIL kikaku@nagaoka-id.ac.jp

		申込日		平成 年 月 日	
申 込 者	企業名等				
	住 所	〒 -			
	T E L		F A X		
	ご担当者		部署/役職		
	E-mail		U R L		
デザイン 相談分野 (複数回答可)	プロダクトデザイン		建築・環境デザイン		
	☐ 産業機械 ☐ 電化製品 ☐ I T 機器 ☐ 日用品 ☐ 雑 貨 ☐ 乗り物 ☐ ファッション ☐ その他		☐ 建築設計 ☐ 空間デザイン ☐ インテリア ☐ 景 観 ☐ 調 査 ☐ 計 画 ☐ イベント ☐ その他		
	視覚デザイン		美術・工芸		
	☐ 広 告 ☐ ロゴマーク ☐ アニメーション ☐ W E B ☐ C I ☐ パッケージ ☐ 写真・映像 ☐ その他		☐ 絵 画 ☐ 金属工芸 ☐ ガラス工芸 ☐ 彫 刻 ☐ テキスタイル ☐ オブジェ ☐ 木彫品 ☐ その他		
内 容					
業務の形態 (複数回答可)	☐ 教員によるデザインワーク ☐ 学生コンペ ☐ 学生によるデザインワーク ☐ その他 () ☐ 外部デザイン事務所等の紹介 ☐ わからない				
期 間 (スケジュール)	開始時期： (製品化予定、販売予定等) 終了時期：				
ご 予 算					
備 考					

受 付 日	平成 年 月 日	受 付 者	
-------	----------	-------	--

